

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.8.23

No. 36

就職者書類提出締め切り8/26(木)!



就職希望者は、受験する企業が決まり、いよいよ今週の木曜日が履歴書等の提出締め切り日です。あらかじめ先生方に下書きのチェックを受け、本番用の用紙に丁寧に書きましょう。提出期限は厳守でお願いします。

今年も希望者全員をまかなえるだけの求人があるわけではありません。つまり受験者全員が合格できるわけではありません。昨年のように就職希望者の半数が一次試験で不合格という事態は是非避けたいものです。その一人に入らないためにも、試験まで残された日数はわずかですが、この厳しい就職戦線の中で何とか、希望する企業に合格できるように、当面以下の3点の対策を！。

まず敵を知ること 過去の各企業毎の就職試験の実態を知る為には先輩の残した受験報告書を必ず見ておくこと(進路室にあります)。企業パンフも目を通すこと。

学科試験対策をすること 昨年は学力試験で不合格者が多かったので、SPI2 や就職試験問題集等基礎学力をつける努力をしておくこと。

面接対策をすること 本番の試験前に面接練習を行うが、面接できちんと自分の思いが伝えられるようにしっかり練習をしておくこと。



小論文・作文対策ミニ講座

就職、進学にかかわらず、試験に際して小論文もしくは作文が課題として出されるところが少なくありません。原稿用紙に向かって何を書いたらよいか分からず筆が一向に進まない人も少なくないでしょう。毎週月曜日の夕方6:55からNHKの教育テレビで「テストの花道」という、効率の良い勉強方法を毎回色々な観点で紹介している番組がありますが、そこで紹介されたことを少し書いておきます(興味のある人にはこの番組はお勧め)。

小論文を書くときには「**なたもだ**」を意識し、論を進めて行きなさいとのこと。まず「な」は『なぜならば』、「た」は『たとえば』、「も」は『もしも』、「だ」は『だから』ということです。番組の中でも、当初中々書けなかった高校生達が、これを意識して小論文を書いたところ皆かなりしっかりした文章が書けていました。この「**なたもだ**」の威力に私も感心し番組を見ました。これから小論文を書かなくてはならない人は少し頭の隅に置いて小論にチャレンジしてみてください。

また文章を読んで、読み続けたいような文章は、月並みなことをダラダラ書いたものではなく、視点が変わっていて、意外性のあるものです。夏目漱石の「吾輩は猫である」は、猫の目を通して小説を書いています。通常の見方ではなく少し見方を変えて書くと、意外に文章が面白くなります。

すぐにそんなに面白い良い文章が書けるものではありませんが、ここに紹介したようなちょっとした工夫や、気配りにより文章は上達するものです。